

まちづくり方針（素案） 変更点まとめ

1. アウトラインの変更点まとめ

第2回 懇談会（H29. 10. 13 開催）まちづくり方針（素案） <u>たたき台</u>	第3回 懇談会（H30. 1. 18 開催）まちづくり方針（素案）
<p>まちづくりの方針。</p> <p>①高齢者が安心して暮らせるまちづくり。</p> <p>②子育て世代が安心して子育てできるまちづくり。</p> <p>③大学生・留学生が安心して暮らせるまちづくり。</p> <p>④多様な世代が住み続けられるまちづくり。</p> <p>⑤多様な世代がコミュニティを形成し支え合うまちづくり。</p> <p>⑥高齢化社会における新たな交通機関。</p> <p>⑦社会情勢の変化に合わせた公共施設の維持管理・更新・利活用。</p> <p>⑧団地内商店街（近隣センター）の利活用。</p> <p>⑨空き家の利活用。</p> <p>⑩分譲マンションの適正管理・耐震化。</p> <p>⑪みどり豊かな都市基盤の維持管理。</p> <p>⑫駅前地区の活性化。</p> <p>⑬交通・人のネットワークによるコンパクトなまちづくり。</p> <p>⑭新たな雇用・ビジネスの場の創出。</p> <p>⑮住みやすい街・オンリーワンのまちブランドづくり。</p> <p>⑯多様な主体と連携・協働によるまちのマネジメント。</p>	<p>まちづくりの方針</p> <p>①誰もが安心して暮らせるまちづくり</p> <p>②子育てしやすいまちづくり</p> <p>③大学生・留学生が愛着を持つまちづくり</p> <p>④多様な世代がコミュニティを形成し支え合うまちづくり</p> <p>⑤誰もが移動しやすい環境づくり</p> <p>⑥みどり豊かなまちの維持管理・更新・利活用</p> <p>⑦団地内商店街（近隣センター）の利活用</p> <p>⑧ライフスタイルに合わせた住まい選び</p> <p>⑨空き家・空き住戸の利活用</p> <p>⑩分譲マンションの適正管理・耐震化</p> <p>⑪交通・人のネットワークによるコンパクトなまちづくり</p> <p>⑫駅周辺地区（地区センター）の活性化</p> <p>⑬新たなビジネスの場の創出</p> <p>⑭住みやすい街・オンリーワンのまちブランドづくり</p> <p>⑯多様な主体と連携・協働によるまちのマネジメント</p>
<p>タイトル変更 及び区分移動</p>	
<p>統合</p>	
<p>掲載順変更</p>	

## 2. 個別方針 変更点まとめ

第2回 懇談会 (H29. 10. 13 開催) まちづくり方針 (素案) たたき台	第3回 懇談会 (H30. 1. 18 開催) まちづくり方針 (素案)	修正等の視点
<p>①<u>高齢者が安心して暮らせるまちづくり</u>  <u>少子高齢化社会が今後も進むなか、高齢者が多摩ニュータウンで安心して、生きがいを持って暮らせる居住環境の形成が必要です。多摩ニュータウンで、健康的にいきいきと安心して暮らし続けるために、地域での見守りや支えあい等のコミュニティ形成や医療福祉サービス等の提供を推進します。</u></p>	<p>①<u>誰もが安心して暮らせるまちづくり</u>  <u>今後も高齢化が進むなか、誰もが多摩ニュータウンで安心して、生きがいを持って暮らせる居住環境の形成が必要です。多摩ニュータウンで、様々なスポーツや運動、学びに触れながら、健康的にいきいきと安心して暮らし続けるために、地域での見守りや支えあい等のコミュニティ形成や医療福祉サービス等の提供を推進します。</u></p>	<p>ア) 現在、高齢化社会ではなく、すでに超高齢社会  イ) 高齢者に限らず、社会的弱者を含めて「誰もが」安心して暮らせるまち  ウ) 「健康的にいきいきと」暮らすためにスポーツ・運動や生涯学習の考え方として「様々なスポーツや運動、学びに触れながら」と追記</p>
<p>②<u>子育て世代が安心して子育てできるまちづくり</u>  多摩ニュータウンは、緑豊かな自然環境や歩道と車道が分離した安全なまちとして、子育てに適した居住環境を有しています。子育て世代を含む若年層世代が、多摩ニュータウンに<u>魅力を感じ</u>、住み続けたい、住んでみたいと思える子育て支援サービスや住宅、働き・交流の場の充実を図ります。</p>	<p>②<u>子育てしやすいまちづくり</u>  多摩ニュータウンは、緑豊かな自然環境や歩道と車道が分離した安全なまちとして、子育てに適した居住環境を有しています。<u>子育てしやすいまちとして</u>、多摩ニュータウンに住み続けたい、住んでみたいと思える子育て支援サービスや住宅、働き・交流の場の充実を図ります。</p>	<p>ア) 「修正等の視点 方針①イ」において「誰もが」と修正したため、タイトルを、子育て世代の居住促進に向けた「子育てしやすいまちづくり」に変更  イ) 主語「子育て世代を含む若年層世代」に唐突感があるため、「子育てしやすいまち」として居住地に選んでいただく、という文章に修正。</p>
<p>③<u>大学生・留学生が安心して暮らせるまちづくり</u>  八王子市内には多くの大学が立地しており、多摩ニュータウンにも多くの学生・留学生が居住しています。学生・留学生のニーズに対応した住宅情報の提供を行っていくほか、学生・留学生が、地域での活動を通して<u>まちに愛着を持ち、住み続けたい</u>と思えるような取組みを推進します。</p>	<p>③<u>大学生・留学生が愛着を持つまちづくり</u>  八王子市内には多くの大学が立地しており、多摩ニュータウンにも多くの学生・留学生が居住しています。学生・留学生のニーズに対応した住宅情報の提供等を行っていくほか、学生・留学生が地域での活動を通して<u>まちに愛着を持ち、住みたいまち</u>と思えるような取組みを推進します。</p>	<p>ア) 「修正等の視点 方針①イ」において「誰もが」と修正したため、タイトルを、大学生の定住促進に向けた「大学生・留学生が愛着を持つまちづくり」に変更。  イ) 他地域に住む学生を含めるために、「住み続けたいと思える」を「住みたいまちと思える」に修正。</p>

<p><u>④多様な世代が住み続けられるまちづくり</u> 多摩ニュータウンには<u>良好な住環境が整備され、ライフスタイルに合わせた多様な住宅が整備されています。ライフスタイルに応じた最適な住環境を選択できるよう、情報発信や相談体制の充実を図る等、多様な世代が安心して住み続けられるまちづくりを推進します。</u></p>	<p><u>⑧ライフスタイルに合わせた住まい選び</u> 多摩ニュータウンには、<u>集合住宅や戸建住宅、賃貸住宅等、多世代での同居や近居といった様々なニーズに対応できる多様な住宅が建築されています。様々なライフステージ・ライフスタイルに応じ、多摩ニュータウン内外の居住者が最適な住まいを選択できるよう、情報発信や相談体制の充実を図ります。</u></p>	<p>ア) 方針の内容と考え方を整理し、タイトル及び目指すまちの姿の区分を変更 イ) 「ライフスタイルに合わせた住まい選び」を方針のタイトルとして、文章を精査、再構築</p>
<p><u>⑤多様な世代がコミュニティを形成し支え合うまちづくり</u> 超高齢社会を<u>迎えるこれからの時代</u>において、地域に暮らす多様な世代がともに支え合う「共助」の取組みが必要となってきます。高齢者支援や子育て支援、災害発生時の自主防災組織等、地域で支え合う「共助」の<u>コミュニティ体制</u>づくりを推進します。</p>	<p><u>④多様な世代がコミュニティを形成し支え合うまちづくり</u> 超高齢社会において、地域に暮らす多様な世代がともに支え合う「共助」の取組みが必要となってきます。高齢者支援や子育て支援、災害時における「共助」の<u>担い手である自主防災組織への支援、スポーツや学び等の様々な活動機会を活用した地域づくり、仲間づくりの促進等、地域で支え合う「共助」の仕組みづくり</u>を推進します。</p>	<p>ア) 現在、高齢化社会ではなく、すでに超高齢社会 イ) 災害時の「共助」の考え方を整理するため追記 ウ) 多摩ニュータウンのコミュニティとして、町会・自治会だけでなく、スポーツや学びを共通の目的として集まる団体によるコミュニティ形成について追記</p>
<p><u>⑥高齢化社会における移動しやすい環境づくり</u> 多摩ニュータウンは、鉄道やモノレール、バス路線が充実した良好な公共交通ネットワークが形成されています。一方、丘陵地であることから、公共交通ネットワークまでの高齢者等の徒歩での移動負荷が大きい状況です。地域が主体となって運営する地域交通や、地域の特性にあった多様な交通手段により、誰もが移動しやすい環境づくりを推進します。</p>	<p><u>⑤誰もが移動しやすい環境づくり</u> 多摩ニュータウンは、鉄道やモノレール、バス路線が充実した良好な公共交通ネットワークが形成されています。一方、丘陵地であることから、公共交通ネットワークまでの高齢者等の徒歩での移動負荷が大きい状況です。地域が主体となって運営する地域交通や、地域の特性にあった多様な交通手段により、誰もが移動しやすい環境づくりを推進します。</p>	<p>ア) 現在、高齢化社会ではない イ) 高齢者に限らず、社会的弱者を含めて「誰もが」移動しやすい環境づくり。</p>

<p><u>⑦社会情勢の変化に合わせた公共施設の維持管理・更新・利活用</u></p> <p>多摩ニュータウンにおいては、学校教育施設や公園をはじめ、様々な公共施設を整備してきました。少子高齢化の進展や人口減少等今後の社会情勢の変化に合わせ、公共施設の維持管理・更新・利活用を計画的に行なう必要があります。公共施設の維持管理・更新にあたっては、地域の教育環境や子育て環境等に配慮しながら、八王子市公共施設等総合管理計画に基づいて総合的かつ計画的に取り組み、多様化する市民ニーズを踏まえた効果的・効率的な公共施設の利活用を図ります。</p>	<p><u>⑥みどり豊かな公共施設の維持管理・更新・利活用</u></p> <p>多摩ニュータウンでは、丘陵地のみどりを活かした学校や公園、道路、橋梁等の公共施設が整備されています。今後は社会情勢の変化に合わせた計画的な維持管理・更新・利活用が必要となってきます。みどり豊かな公共施設の維持管理・更新にあたっては、住環境や子育て環境等に配慮しながら、八王子市公共施設等総合管理計画に基づき、多様化するニーズを踏まえた効果的・効率的な維持管理・更新・利活用を図ります。</p>	<p>ア)「公共施設」及び「都市基盤」について、維持管理・更新・利活用の考え方が共通するため、方針を統合</p> <p>イ)豊かなみどりを含め、アドプト制度等を活用しながら、地域住民等と連携し、公共施設（インフラを含む）を維持管理していく</p>
<p><u>⑩みどり豊かな都市基盤の維持管理・更新</u></p> <p>多摩ニュータウンでは、道路、橋梁、公園、公共下水道等良好な都市基盤が整備されています。順次更新時期を迎える都市基盤を計画的に維持管理・更新していく必要があります。地域住民や企業等との協働を視野にいれながら、計画的点検・調査に基づく予防保全を行い、都市基盤の長寿命化を図ります。</p>	<p><u>⑦団地内商店街(近隣センター)の利活用</u></p> <p>徒歩での利用を前提とした団地内商店街(近隣センター)は、車社会への変化等により、魅力やニーズが低下し、空き店舗がある等サービス機能が低下しております。ニーズに合わせた柔軟な利活用や、地域住民や学生、NPO法人等の多様な主体と連携した新たな利活用を促進します。</p>	<p>ア)「時代のニーズを捉えた」「柔軟な利活用」を「ニーズに合わせた柔軟な利活用」と平易な表現に変更</p> <p>イ)「多様な主体」を例示。 「地域住民や学生、NPO法人等」と連携しながら、空き店舗等の有効活用を図ること等をイメージ</p>
<p><u>⑧団地内商店街(近隣センター)の利活用</u></p> <p>徒歩での利用を前提とした団地内商店街(近隣センター)は、車社会への変化等により、魅力やニーズが低下し、空き店舗がある等サービス機能が低下しております。時代のニーズを捉えた団地内商店街(近隣センター)の柔軟な利活用や、多様な主体と連携した新たな利活用を促進します。</p>	<p><u>⑦団地内商店街(近隣センター)の利活用</u></p> <p>徒歩での利用を前提とした団地内商店街(近隣センター)は、車社会への変化等により、魅力やニーズが低下し、空き店舗がある等サービス機能が低下しております。ニーズに合わせた柔軟な利活用や、地域住民や学生、NPO法人等の多様な主体と連携した新たな利活用を促進します。</p>	<p>ア)「時代のニーズを捉えた」「柔軟な利活用」を「ニーズに合わせた柔軟な利活用」と平易な表現に変更</p> <p>イ)「多様な主体」を例示。 「地域住民や学生、NPO法人等」と連携しながら、空き店舗等の有効活用を図ること等をイメージ</p>

<p>⑨空き家・空き住戸の利活用</p> <p>人口減少等の影響により、多摩ニュータウンにおいても、防犯性やまちの活力低下等の原因となる空き家や空き住戸が増加していく可能性があります。空き家や空き住戸を地域資源として捉え、多様な世代の入居を促進していくとともに、<u>空き家や空き住戸を活用した地域交流の場等の多様な利活用について促進していきます。</u></p>	<p>⑨空き家・空き住戸の利活用</p> <p>人口減少等の影響により、多摩ニュータウンにおいても、防犯性やまちの活力低下等の原因となる空き家や空き住戸が増加していく可能性があります。空き家や空き住戸を地域資源として捉え、多様な世代の入居を促進していくとともに、<u>住宅事業者のみならず、地域住民や学生、NPO法人等の多様な主体と連携し、空き家・空き住戸の様々な利活用を促進していきます。</u></p>	<p>ア)「多様な利活用」のイメージとして、「地域住民や学生、NPO法人等の多様な主体と連携し」ながら、空き家・空き室の有効活用を図る 新住区域・区画整理区域ともに、活用の方向性は同じ</p>
<p>⑩分譲マンションの適正管理・耐震化</p> <p>多摩ニュータウンには、戸建住宅のほか、多くの分譲マンションが建築されています。分譲マンションの安全で良好な住環境を維持するためには、大規模修繕や耐震化の対応等が必要です。旧耐震基準の分譲マンションの耐震化を促進するとともに、管理組合等の自主的な取組を促す普及啓発や支援等により分譲マンションの適正管理を促進します。また、分譲マンションの建替えにあたっては、専門家や関係団体等と連携した相談体制の充実を図ります。</p>	<p>⑩分譲マンションの適正管理・耐震化</p> <p>多摩ニュータウンには、戸建住宅のほか、多くの分譲マンションが建築されています。分譲マンションの安全で良好な住環境を維持するためには、大規模修繕や耐震化の対応等が必要です。旧耐震基準の分譲マンションの耐震化を促進するとともに、管理組合等の自主的な取組を促す普及啓発や支援等により分譲マンションの適正管理を促進します。また、分譲マンションの建替えにあたっては、専門家や関係団体等と連携した相談体制の充実を図ります。</p>	<p>変更なし</p>
<p>⑫駅前地区の活性化</p> <p>南大沢駅や京王堀之内駅を中心とした駅前地区は、様々な方が利用するまちの玄関口として、日常の活動や交流の中心としての魅力づくりが求められています。地域の特徴や市民ニーズを捉えた公共施設等の多様な利活用を図り、魅力ある、賑わい・憩いの場の創出を促進します。</p>	<p>⑫駅周辺地区(地区センター)の活性化</p> <p>南大沢駅や京王堀之内駅を中心とした駅周辺地区は、様々な方が利用するまちの玄関口として、日常の活動や交流の中心としての魅力づくりが求められています。地域の特徴や市民ニーズ、<u>リニア中央新幹線駅整備等の社会情勢の変化を捉え</u>、公共施設等の多様な利活用を図り、賑わい・憩いの場の創出を促進します。</p>	<p>ア) リニア中央新幹線駅の整備効果を捉え、駅前地区の利用促進やさらなるにぎわい創出に向けて「リニア中央新幹線駅整備等の社会情勢の変化を捉え」と追記</p>

<p>⑬交通・人のネットワークによるコンパクトなまちづくり</p> <p>多摩ニュータウンは、駅前に都市サービス機能、徒歩圏内には身近な生活・交流施設を配置し、公共交通ネットワークによって結ばれたコンパクトなまちが整備されています。良好な都市基盤や公共施設、住宅ストック等を有効活用しながら、駅前地区や団地内商店街の新たな活用を促進し、コンパクトなまちづくりを推進していきます。</p>	<p>⑪交通・人のネットワークによるコンパクトなまちづくり</p> <p>多摩ニュータウンは、駅前に都市サービス機能、徒歩圏内には身近な生活・交流施設を配置し、公共交通ネットワークによって結ばれたコンパクトなまちが整備されています。良好な都市基盤や公共施設、住宅ストック等を有効活用しながら、駅前地区や団地内商店街の新たな活用を促進し、コンパクトなまちづくりを推進していきます。</p>	<p>変更なし</p>
<p>⑭新たな雇用・ビジネスの場の創出</p> <p>多摩ニュータウンには、大学生や子育てが一段落した方、退職して地域に帰ってきた方等、活力にあふれた多くの方が居住しており、周辺ではリニア中央新幹線駅整備等が予定されています。周辺地域も含めた様々な地域資源を活用し、大学や企業等と連携した新たなビジネスを創出し、いきいきと活躍できるビジネス環境の創出を促進していきます。また、新たな企業の立地や既存企業の立地継続を促進し、地域での雇用拡大を図ります。</p>	<p>⑬新たなビジネスの場の創出</p> <p>多摩ニュータウンには、大学生や子育てが一段落した方、退職して地域に帰ってきた方等、活力にあふれた多くの方が居住しており、周辺ではリニア中央新幹線駅整備等が予定されています。周辺地域も含め、<u>地域住民や大学、企業等の様々な主体と連携し、地域課題解決に向けたソーシャルビジネス等、新たなビジネスの環境創出</u>を促進していきます。また、新たな企業の立地や既存企業の立地継続を促進し、地域での雇用拡大を図ります。</p>	<p>ア) 直接的に新たな「雇用」を創出する施策を行うことはない。企業立地等を含む「新たなビジネスの場の創出」を方針とする。</p> <p>イ) 検討中の産業振興マスタープランの考え方に合わせ、「地域住民や大学、企業等の様々な主体と連携」した「地域課題解決に向けたソーシャルビジネス」を新たなビジネスの中核として例示。文章を整理。</p>
<p>⑮住みやすい街・オンリーワンのまちブランドづくり</p> <p>多摩ニュータウンは、郊外のベッドタウンとしてのイメージが強く、若年層の居住促進や定住人口の維持のためには、まちの魅力の発信を図る必要があります。市内外にまちの魅力発信しながら、多摩ニュータウンに人を惹き寄せる新たなまちのブランディングを推進します。</p>	<p>⑭住みやすい街・オンリーワンのまちブランドづくり</p> <p>多摩ニュータウンは、郊外のベッドタウンとしてのイメージが強く、若年層の居住促進や定住人口の維持のためには、まちの魅力の発信を図る必要があります。市内外にまちの魅力発信しながら、多摩ニュータウンに人を惹き寄せる新たなまちのブランディングを推進します。</p>	<p>変更なし</p>

<p>⑩多様な主体との連携・協働によるまちのマネジメント</p> <p>多摩ニュータウンの将来像の実現には、周辺地域も含めた地域の住民や事業者、企業、大学、NPO 法人等がそれぞれの強みを活かしながら、連携・協働して取り組む必要があります。各主体のまちづくりに参画する意識の醸成を図るとともに、それぞれの主体の取り組みへの支援や相互機会を拡充し、多摩ニュータウンのまちづくりに向けた連携・協働体制の構築を図ります。</p>	<p>⑪多様な主体との連携・協働によるまちのマネジメント</p> <p>多摩ニュータウンの将来像の実現には、周辺地域も含めた地域の住民や事業者、企業、大学、NPO 法人等がそれぞれの強みを活かしながら、連携・協働して取り組む必要があります。各主体のまちづくりに参画する意識の醸成を図るとともに、それぞれの主体の取り組みへの支援や相互機会を拡充し、多摩ニュータウンのまちづくりに向けた連携・協働体制の構築を図ります。</p>	変更なし
---	---	------